



品質維持向上部会の活動紹介

2010年9月22日

品質維持向上部会
部会長 浅野 陽子 (NTT)

背景

▶ 動向

- JIS X 8341-3改正により、試験可能な達成基準が明確化
- ウェブアクセシビリティ基盤委員会より補助情報公開
- 国や自治体の入札でもJIS準拠が要件に入る案件が増加

▶ 課題

- 実現には大量のドキュメントを理解し使いこなすことが必要である
- JIS準拠には、まだ具体的な方法や解釈がグレーな部分があり、多様なケースについて検討を積む必要がある
- 基盤委員会でJIS対応度について、「配慮」「準拠」「適合」という3レベルを定めたが、その品質(JISを正しく理解して実装・試験が行われ、維持されているか)を保証するしくみがない

活動概要

▶ 目的

- JIS X 8341-3:2010の規格に則ったウェブの実現を支援する情報やしくみを整備
- ウェブのアクセシビリティ品質を維持向上する規範・制度を策定

▶ アプローチ

- 改正JISにまだ精通していないウェブ制作・運用担当者の視点で、実現上の課題・要求を抽出し検討
 - 部会参加者によるケーススタディ・調査・検討→文書化して公開
 - 関連組織へ問題提起・提案

短期活動(案)

- ▶ ウェブアクセシビリティ実装・試験に関わる技術面の検討
 - JISやWCAGの技術文書に精通していない立場で、JISを実際に適用する上で、どのような問題が生じどのように解決を図るかを、ケーススタディをとおして抽出する
 - 活動イメージ:試験のケーススタディの場合
 - 試験方法の理解(JISや基盤委員会のドキュメントの理解)
 - 対象サイトの選定
 - 試験方法の決定
 - 分担しての試験作業の実施
 - 問題点の検討
 - 活動レポートの作成・公開

中長期活動(案)

- ▶ ウェブアクセシビリティ実現・維持に関わる運用面の検討
 - 欧米の規格や先行事例、国内外の認定・認証制度の調査

将来的には

- 規範制定の検討
 - 資格認定制度の検討
 - 品質認証制度の検討
- ⇒ 関連組織へ制定を提案、導入を支援

品質維持向上部会参加のお誘い

- ▶ 対象：JWAC正会員
 - JISの適用方法を理解したい方
 - アクセシビリティ品質について関心のある方
- ▶ 活動の進め方
 - メンバで作業を分担。連絡はメーリングリストで行い、月1回程度打合せ(Web会議もあり)を実施して議論
 - 具体的なアクションプランは、メンバの意見を基に作成。各自が可能な量に合わせて分担。
- ▶ 参加メリット
 - JISの理解が深まり、規格適用の際の知識やノウハウを体得
 - 自分の意見を、共通的に使われる規範・制度に反映可能
 - いち早く詳細情報を取得可能
- ▶ 参加申し込み先：協会事務局 info@jwac.or.jp